

令和2年度 第1回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 議事要旨

令和2年6月22日（月）

13：30～14：20

大垣市役所8階 大会議室

出席者：25名 欠席者：2名

- 1 健康福祉部長あいさつ
- 2 令和2年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の開催計画（案）について（各部部长より説明）
→別紙資料1による
・第1回は新型コロナウイルスに関する書面会議を全部会にて実施予定
- 3 障害者就労施設等からの物品等の調達について（事務局より説明）
→別紙資料2による
・大幅な増加はふるさと納税制度における、市外の寄付者への返礼品としての物品の購入が増えたもの。
- 4 令和元年度合理的配慮事例の報告について（事務局より説明）
→別紙資料3による
・市役所における合理的配慮事例を定期的に収集し、情報共有することで、市民サービスに反映させていく。
- 5 第三次障害者計画及び第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の事業実績及び事業計画について（事務局より説明）
→資料4-1、4-2、4-3による

【質疑】

＜大垣市第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画＞

- ・令和元年度事業実績・令和2年度事業計画一覧表 8ページ 41 保育所等訪問支援が、50%未満（■）の進捗状況である。その原因は何か。市において、「気になる子」は多いと思われる。

→ 保育所等訪問支援は事業所が保育園等を訪問して行う事業である。
大垣市においては、子育て支援課発達支援グループが保育園等から相談があれば、作

業療法士が訪問し子どもや保育士らを支援している。また、5歳児の保護者を対象にアンケートを実施し、保健センター、保育課と連携し相談事や悩みに対応をしているなど、市で訪問支援を実施している。

実績としては、園への巡回訪問：市内の合計 28 園 45 名

5歳すこやか相談：市内の全園 1,218 人